

総合教育センターだより

秋田県総合教育センター

〒010-0101

南秋田郡天王町天王字追分西29番地の76

TEL 018(873)7200(代表)

FAX 018(873)7201

ホームページアドレス

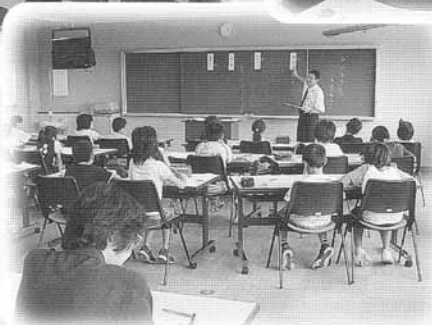
<http://www.akita-c.ed.jp/center/>

すこやか電話相談 018(873)7206

// 0120-37-7804 (フリーダイヤル)

平成16年12月15日発行 第91号

飛翔



生きる研修 生かす研修!

明日の授業に生きる研修を目指して、
年間のべ125日に及ぶ研修講座や公
開講演を実施しています。



目標を明確にした研修を目指して

講座風景①



「幼児教育における指導の工夫—言葉—」(C講座)
受講者の感想より
・テレビやビデオの幼児番組に頼りがちだが、古典的・伝承的なことば遊びや生のやりとりの大切さを再確認した。「素話」「わらべうたあそび」「こもりうた」などさっそくやってみよう。

講座風景②



意外性を引き出す(初任研)

インターネットTV授業

インターネット授業推進校とセンターは、毎日2～3時間ほどTV会議システムを活用した授業を行っています。

最近、推進校どうしの交流や共同学習が多く行われています。写真は、男鹿南中学校と湯沢南中学校間で社会科の時間に、男鹿市と湯沢市の人口について学習したときのTV画面です。このほかに、中学校間での生徒会どうしによる交流、小学校間での理科「流れる水のはたらき」における地域の映像の交換と話し合いによる共同学習、同じく小学校間での生活科や体育における共同学習などがありました。それぞれの実践は、学校や地域の特色を生かした内容で、相互の学習に深まりが見られ、インターネットTV授業の成果が期待されます。



すべての教員には各自の研修目標を明確にしながら、経験年数、校種、職務や教科、適性などに応じた研修の機会が確保されることが求められています。

今年度センターでは、学校経営の充実に向けて、新任教頭研修講座や新任教務主任研修講座、全校種10年研に「組織マネジメント」の内容を盛り込みました。また、「蘇生法と救急法」を、児童生徒の安全を確保するという観点から、全校種初任研に設定しました。

さらに、学校図書館の機能的な運営のために、「学校図書館の有効活用を図った国語の指導」や「学びをはぐくむ学校図書館」をC講座に、魅力ある特別活動の実践のために、「小・中学校特別活動研修講座」をB講座に新設しました。

なお、「総合的な学習の時間」がより実践的な内容となるように、ワークショップ形式を導入したり、「特殊教育」から「特別支援教育」への転換に伴う教育的なニーズを考慮して、校内支援体制づくりに直結した内容の充実に努めました。

いずれの場合にも、受講者の主体的な研修活動を重視しているのはいまもありませんが、センター研修も含めた校外研修が、校内研修や自己研修と有機的な関連を図りながら、教員一人一人の目標達成のために効果的に進められていくことを期待しています。

模擬授業で技量をアップ

小・中学校の初任者・10年経験者研修講座では模擬授業を2度ずつ実施しています。互いに児童・生徒役を演じることを通して、自己の指導観や児童生徒観、指導技術等を吟味し合う場として受講者には好評です。十分に検討した導入や課題提示、山場の学習活動であるはずが、思うような反応を引き出すには至らない……。模擬授業を行うことで受講者は、学習者の数だけ多様な複雑な反応があることを再認識し、教科指導における自己の課題を自問自答します。協議を通して見られる、同じ悩みに共感する姿、より効果的な指導法について示唆を得てうなずく姿からは、今後経験を積んで自分なりの指導スタイルを形づくり、さらには後進の指導にも力を尽くしていくであろう頼もしさを感じられます。

視野を広げ明日に生かす体験型研修

児童生徒の学習同様、センターの講座でも体験型の研修が数多く準備されています。たとえば、初任者研修での「蘇生法と救急法」は、市立秋田総合病院の円山啓司先生と男鹿地区消防署救急救命士の方々を講師として実施されました。命にかかわる場面を想定しての実習だけに、緊張感も漂って真剣そのものでした。実習後には「普通救命講習修了証」も授与されます。小・中・特殊教育学校の初任研では、このあと主体的に研修を作り上げる「手づくり研修」も予定されています。

このほかにも、高等学校5年研での「企業体験研修」や各年次研での「実地研修」など、学校での指導に新たな視点を提供する講座が用意されています。



ご存じですか？センターからの発信



044/654 | Since 05/Sept/2000

最終更新日 2004/11/22 | 研修講座案内 | 手づくり研修 | English pages | センターマップ | アクセス

センターのホームページ(<http://www.akita-c.ed.jp/center/>)では、研修講座案内や研究紀要、右のような刊行物などをPDF形式で提供しています。インターネット上で情報を見るだけではなく、印刷して利用することもできます。また、校内研修などで役立てていたように、講座で活用した資料等の提供も行っています。

各研修班のページへの入り口や、センターで行われている様々な事業に関する情報や行事などの案内については、ホームページ左側のメニューにまとめられています。今年度から、研修講座を中心にセンターを会場として行われる研修会等の予定を、「センター行事予定」として掲載していますので、参考にしてください。

From特別支援教育班「Message」

特別支援教育にかかわるホットな情報を、すぐ役に立つ具体例とQ&Aでお伝えしています！

From児童生徒支援班「生徒指導だより」

不登校、いじめをはじめとする生徒指導上の諸問題への実践的ですぐ使える情報を提供します！

From情報教育研修班「knaコム」

情報教育に関する最新の情報を掲載しています！

公開講演

各分野の著名な講師による公開講演(年6回)は、広く県民の方も聴講することができます。

「豊かな心を育てる生徒指導」

千葉大学名誉教授 坂本昇一先生の公開講演が10月15日(金)に当センターで行われました。先生は、中央教育審議会専門員、登校拒否問題対策委員会座長を歴任され、「生徒指導の機能と方法」など多くの著書を出し、現在も全国でご講演をされています。

当日は、約100名の参加者を見、子どもの豊かな心を育てるためには何が必要か、また、そのための具体的な手立ては何かなどについてご講義していただきました。参加者からは、発達段階に応じた教師や家庭のかかわり方を理解できたなど、喜びの声が多く聞かれました。その講演の中から一部を紹介いたします。心の育成の軸になる「成長の道しるべ」について、次の2点が強調されていました。

1点目は、**子どもの発達課題における累加性と適時性を理解した支援を行うこと**です。累加性とは徐々に積み重ねていくことであり、適時性とはその時期にやらなければならないことです。教師も親もこのことを理解して支援していくことが大切です。

2点目は、**子どもが行動目標を決定できるかかわり方をすること**です。そのためには、教師も親もいつ引いて、いつ出るかを区別してタイムリーに支援することが大切です。安易に結論に導かないことを心得ておく必要があります。

公開講演 エル・ネット放送のお知らせ

総合教育センターで行われた公開講演が、エル・ネット(教育情報衛星通信ネットワーク)から放送されます。学校を改善するための研修や、生徒指導のために役立つ内容です。

秋田県内の公民館や県立学校などの受信局で視聴・録画することができます。

放送日 平成17年1月12日(水) 10:00～15:20
チャンネル2

内容 「カリキュラムマネジメントと自己評価」
国立教育政策研究所 工藤 文三氏
「心を育てる生徒指導」

千葉大学名誉教授 坂本 昇一氏

※詳細はエル・ネット担当(保坂)まで



講座風景③

先生、あのね…天王みどり学園での「実地研修」(10年研)

第19回 秋田県教育研究発表会のご案内

- 期 日 平成17年2月9日(水)・10日(木)
- 会 場 秋田県総合教育センター
- 日 程

9日 (水)	10:00	11:00	12:20	13:30	16:00
	受付	教育研究 奨励賞 授賞式	教育研究 発表会 開会式	概要説明	総合教育センター プロジェクト研究の発表 教職員 海外コミュニケーション 研修フォーラム

10日 (木)	9:30	12:00	13:10	15:00
	受付	分野別研究発表 (分科会)	昼 食	記念講演

記念講演「教育改革と教師」 千葉大学教授 天笠 茂 氏

教育センター研究発表概要

プロジェクト研究1

〈教育活動全体に機能する生徒指導の在り方〉

全县の各校種約20%の学校を対象に、昨年度作成した「生徒指導に関する調査」を実施しました。その集計結果を報告します。また、調査協力校(小中各2校)の調査結果に基づいた具体的な事例分析から、教育活動全体に機能する生徒指導の在り方を提言します。

プロジェクト研究2

○2年間の研究をまとめた3つのプロジェクト研究及び共同研究2グループの発表を行います。また、研修員も1年間の研究の成果を発表します。

プロジェクト研究3

〈各学校における学習評価の実施状況に関する調査研究〉

県内の各学校に対する学習評価の実施状況調査及び研修講座の受講者を対象とした意識調査をもとに、各学校における「目標に準拠した評価」の実施状況や課題を整理し、授業改善に生かすための学習評価の在り方について提言します。

共同研究1

〈軽度発達障害の子どもたちへの学習支援の在り方～国語科の実践を通して～〉

小学校や中学校の国語科の学習指導において、子どもの意欲を引き出しながら、個々のつまずきに対する具体的にきめ細やかな支援はどうあればよいか、アンケート調査と事例研究の2つの側面から検証し、提言します。

共同研究2

〈教員一人一人が目標を明確にした研修の在り方～確かな指導力向上を目指して～〉

自己評価により個別の研修計画を作成することで、校内研修・校外研修・自己研修をより効果的に関連させて実施する研修の在り方を提言します。

共同研究2

〈TV会議システムの有効利用に関する研究～学校間による交流、共同学習の在り方～〉

インターネットTV授業推進事業における実践をもとにして、TV会議システムを利用した各教科等の交流や共同学習の成果と課題を整理し、学校間の交流や共同学習の在り方を提言します。

☆プラネタリウム教室☆

	1月6日(木)	1月7日(金)
プラネタリウム学習会①	10:00～10:40	10:00～10:40
星のコンサート	11:00～11:30	11:00～11:30
プラネタリウム学習会②	11:50～12:30	11:50～12:30

星と音楽のひとときを
みなさまでお楽しみください。
となたでもあいていただけます。